

令和6年度 住吉高等学校不祥事ゼロプログラム

住吉高等学校は、不祥事を起こさないという職員の総意をもって、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

実施責任者を校長とし、副校長、教頭及び事務長がこれを補佐する。また、総括教諭は学校運営組織の要としてゼロプログラムの推進に取り組む。

2 目標及び行動計画

- ① 法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）

目 標 公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を失うことのないよう意識を高める。

行動計画 ・不祥事防止会議、不祥事防止研修会をとおして職員の意識向上を図る。
・職員行動指針・神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針の継続的な確認を行う。
・服務規律を遵守する。
・服務規律に関する研修を行う。

- ② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止

目 標 働きやすい職場環境を整えて協働できる体制を築き、ハラスメント件数はゼロを目標とする。

行動計画 ・お互いを尊重し、助け合いの精神を醸成する。
・人権感覚を高める研修を実施する。
・風通しの良い職場をつくり、ハラスメント防止を図る。

- ③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止

目 標 他者の思いに気づく人権感覚を高め、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員はゼロを目標とする。

行動計画 ・組織的に生徒に対応することにより行為の根絶を図る。
・わいせつ、セクハラ防止に関する研修を行う。
・教員と生徒間でのSNS等の禁止について継続的に確認し、徹底する。
・生徒相談窓口の充実を図り、効果的運用に努める。

- ④ 体罰・不適切な指導の防止

目 標 生徒の人権を尊重して体罰・不適切な指導をなくし、体罰・不適切な指導はゼロを目標とする。

行動計画 ・対話を重視した生徒指導を行う。
・生徒指導は複数で行い不適切な指導を防止する。

- ⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止

目 標 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故はゼロを目標とす

る。

- 行動計画
- ・作業一つひとつの意味を理解し、マニュアルの遵守と形骸化を排除する意識を確立する。
 - ・各自が入選業務全体を把握し、組織として各自の業務を確実に実施する。
 - ・成績処理や調査書発行に係る事故防止のため、各点検作業を徹底する。
 - ・ヒヤリハット発生時には、原因を追究し、再発防止策を講じ全体で共有する。

⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

目 標 個人情報の流出、情報セキュリティに関する事故はゼロを目標とする。

- 行動計画
- ・個人情報は暗号化ファイルサーバーに保存する。
 - ・個人情報を校外に持ち出す際は、所定の手続きを行い、慎重に管理することを徹底する。
 - ・職員室内での個人情報の扱いについては鍵のかかる場所に保管し、慎重に管理する。

⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

目 標 交通法規を遵守し、公務中、公務外にかかわらず交通事故、交通違反のゼロを目標とする

- 行動計画
- ・交通法規を遵守し交通事故防止を図る。
 - ・事故防止研修会で酒酔い運転、酒気帯び運転の防止の徹底を確認する。

⑧ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）

目 標 高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う。

- 行動計画
- ・仕事を溜めず抱え込まず、業務の協力体制の構築に努める。
 - ・業務の引継ぎを確実にを行い、業務遂行の無駄をなくす。
 - ・必要な情報をすみやかに共有し、滞りなく業務が行えるようにする。

⑨ 財務事務等の適正執行

目 標 私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める。

- 行動計画
- ・適正な私費会計事務処理を履行し、速やかに処理を行う。
 - ・銀行振込を活用し、できるだけ現金を扱う機会を減らす。
 - ・現金は金庫で管理し、速やかに口座に入金する。

3 プログラムの検証

2に規定する行動計画について、令和6年10月に中間検証を実施し、達成度の低い場合には対応策を検討し実施する。また、令和7年3月には最終検証を実施する。

4 プログラムの報告及び検証結果の公表

本校ホームページに公表する。